

事業所名		川崎西部地域療育センター保育所等訪問支援事業所		公表日 2025年 3月 10日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・体制・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	16	2	訪問先施設で取り入れられる教材を精査し持参するほか、タブレットなどを見ながら情報共有している	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	4		訪問支援員の配置数は確保できており、希望者のニーズに合わせて、各職種の担当者がタイムリーに対応できるようにしていく
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	8	複数の職員が関わってはいるが、情報共有をタイムリーに職員間で行えるとよい	定期ミーティングを活用し、支援内容について共有、検討できる仕組みにしてい
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17	1	アセスメントシートを保護者と職員で共同で作成し、保護者の意向を把握した上で支援方法を検討している	
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	3	毎月訪問支援員が集まる会議を行い、支援の現状と課題となっていることを共有するような仕組みにしている	定期ミーティングを活用し、改善に向けての検討を行っていく
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	16	2		今後、令和6年度に実施した第三者評価の評価結果が明らかになった後、今後の業務改善につなげていくようにする
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	17	1	対人援助を行う職員としての資質を向上させるための研修が年間計で画されている	訪問支援の支援スキル向上に資する研修等に積極的に参加するようにする
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	18	0	様々な角度からアセスメントを行い、訪問先施設の状況を考慮しながら支援計画を作成している	
	9	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16	2	支援の方向性について、関係職員で共有し課題となることは、毎月の定例会議で報告するようにしている	
	10	個別支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	18	0	訪問先施設、担当者のニーズを把握しながら、丁寧に情報共有しながら連携した支援を行っている	
	11	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	17	1	関係する職員間で共有するようにしている	関係する職員がタイムリーに情報共有でき課題を共有・検討しやすい仕組みを整えていく
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	16	2	「コンサルテーション満足度尺度」を使用し、訪問先施設の状況に合わせた支援ができていますか自己点検を行っている	
	13	個別支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	18	0	インクルージョンの視点を持った子どもの実態、ニーズに即した具体的な支援内容を設定している	
	14	個別支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	17	1	計画に沿った支援を行いながら、訪問先の環境変動、こどもの変化で計画の見直しが必要であれば柔軟に変更していく	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	4	複数の職員が訪問支援に関わる場合は、密に情報共有を行って支援を行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15	3	支援を通じて気づいたとがあれば、訪問支援員と児発管で共有し、毎月の定例会議でも訪問支援員全体で共有している	関係する職員間で、支援状況と課題が共有しやすい仕組み作りをすすめる
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	17	1	訪問先の理念や方針を理解するように情報収集を行い、担当者との丁寧な会話を心がけている	支援開始前に訪問先の管理職はもとろんのこと、現場の担当者とも訪問支援の目的を共有するようにする
	18	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	18	0	状況や課題を整理した支援記録を作成し、次の訪問支援に活かしている	

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	18	0		訪問回数が限られる中、精度の高い評価と適切な目標設定・見直しが行わるように技術を高めていく
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16	2	担当者会議、関係機関との会議の開催、参加することが十分にできていない状況がある	
	21	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	5	学校との協力関係を構築していくために教育委員会とも連携して支援を行っている	児発管、または訪問担当者が適宜連携できるような体制構築をすすめる
	22	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	17	1	こどもの状況を踏まえて、就学後も継続して訪問支援を行うなど柔軟に対応している	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	12	6	職員の研修希望に関しては、積極的に外部研修参加を後押ししている	
	24	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	9	9		地域の関係機関との連携した支援をさらにすすめていけるような取り組みとその体制作りを行うこと
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	17	1	訪問後には、こどもの状況や関わり方の工夫などにつて、情報共有している	タイムリーに情報共有できるコミュニケーション方法を訪問先、保護者と確認しながらすすめていく
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	6	療育センター利用児保護者向けの学習会を案内しており、講義形式で対応の工夫を学べる機会を提供している	訪問支援を利用開始時にも学習会の年間予定などを積極的に情報提供していく
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	16	2	重要事項説明会で書面を通じて説明を行っている	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	16	2	「保育所等訪問支援事業について」というチラシを作成し、目的、内容を説明している	訪問先の管理者だけではなく、現場の担当者にも理解していただくようにすすめていく
	29	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	18	0	アセスメントシートに意向を記入していただくシステムがあり、モニタリングの際にも保護者から丁寧に聞き取っている	
	30	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	18	0	必ず保護者から同意のサインをいただきている	面談、確認作業など年間計画を説明しながら保護者にも改めて協力をお願いしていく
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	18	0	訪問報告、モニタリングの際には日頃、困りごとがないかを聞き取るようにしている	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	11		療育センター利用者向けの学習会（先輩保護者との交流会含む）も積極的に案内するようにしている
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	17	1	相談内容によっては、児発管、管理職を含めた組織的な体制で対応できるようになっている	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	10		ホームページページの活用も含めて積極的な情報発信に行っていくようにする
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	18	0	法人の個人情報管理規定に沿って、取扱いに十分留意して対応している	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	18	0	こどものコミュニケーションスタイルに合わせたわかりやすい情報伝達方法での意思疎通を心がけている	

訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	18	0	訪問先からの相談に対して、電話での対応など適切に迅速に回答できるように取り組んでいる	今後も訪問先の担当者とのコミュニケーションを大切にした支援を展開していく
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	17	1	訪問実施後に振り返りの話し合いを行うようにしている	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	18	0	訪問実施後にこどもの状況、支援内容などを家族へ報告を行うようにしている	訪問後、タイムリーに家族との連絡が取れない場合もあり、事前に家族との調整も必要
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	18	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	18	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	6	各マニュアルを策定し、必要な研修、訓練を定期的に行っている	家族への周知も説明会等で積極的に行っていく
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15	3	安全計画を作成し、必要な研修、訓練を定期的に行っている	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	3	事業内で共有すべきことは、「事故報告・ヒヤリハット報告書」を作成し、再発防止策を検討・共有している	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16	2	こどもの人権の尊重を考えるグループワーク研修を行うなど、虐待防止に向けた取り組みをしている	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	17	1	定期的にミーティングを行い、組織的に決定した上で支援を行うシステムになっている	